

(様式4号)

まちづくりアドバイザー派遣結果報告書

令和8年5月26日

茨城まちづくりセンター
運営委員長 殿

報告者（主催者） 日立市都市政策課

まちづくりアドバイザー派遣制度運営要項第6条の規定に基づき、次のとおり報告します。

実施日時	令和8年5月22日（金）午前10時から正午まで
主催者の名称	日立市 都市政策課
講演会等の名称	令和8年度第2回日立市駅前周辺地区まちづくり会議
アドバイザー氏名	内山 征 氏
実施場所	会場名 ヒタチエ5F
参加者数	15名（Web参加含む）
講演内容（具体的に詳しく記入して下さい。） 【演題】 令和8年度第2回日立駅前周辺地区まちづくり会議 【内容】 ①未来ビジョン、エリアプラットフォームについて 未来ビジョンに掲載するイメージパースを使用し、イラストに追加したいもの（施設、事業、アクティビティ等）を出し合った。意見は今回の会議に参加していないメンバーも含め引き続き募集し、集約後、イメージパースの校正を行うこととした。 ②社会実験について 第1回は9月23日（水・祝）、まへのうち児童公園にて二十三夜尊緑日と同日でまちづくりイベントを開催、その後、第2回は平和通りや沿道空き店舗を使った内容で行う方向とした。 ③その他（報告等） まちづくり会議メンバーが参加した市の事業等について報告した。 アドバイザーには、未来ビジョンに関する意見交換のコーディネーター、他市町村の事例を踏まえたアドバイス、新たに参加したメンバーに対する説明・意見の引き出しなど、有意義な会議となるよう補助いただいた。	

感想など

【主な意見】

①未来ビジョン、エリアプラットフォームについて

- ・全体的に「緑」を多くしたい。物流ルートは担保しつつ、歩けるところは自然物で覆うことができると良いが、樹木・植物は維持コストという課題も生じるため、バランスの考慮も必要である。
- ・未来ビジョンは策定がゴールになりがちなので、ビジョンを活用したカードゲームの作成や名刺裏にイラストを使用するなど、策定したもので楽しめるような展開ができると良い。
- ・若者が、謎解き、ボードゲーム等のイベント開催に気楽に挑戦できるような仕組みやコンセプトがあると良い。
- ・新都市広場を月1回無料でイベント等に使用できるなど、税金・使用料の規制の緩和により誰でも事業展開ができる「楽市楽座」的なスキームができると更に面白いまちになると思う。

②社会実験について

- ・まちの回遊性を目的とするものであれば、会場を駅前で設定するよりも、まへのうち児童公園まで動線を延ばした方が良い。
- ・イベントにおける人工芝の活用についてはおおむね認知されてきているので、今まで見たことがない風景となるような集客コンテンツ・アクティビティが必要である。（子どもが無料で遊べる場所、プール、水遊びスプリングラ、大量の畳で道路を敷き詰めるなど）
- ・空き店舗の活用については、家賃が比較的安価で、平和通り副道も活用できる物件A、又は、立地が魅力的で昨年度より面積も広く幅広い世代の交流を見込むことができる物件Bのいずれかで検討したい。

本会議の意見交換の結果を踏まえながら、引き続き「日立未来ビジョンの策定・エリアプラットフォームの構築」に向けて検討を進めていく。

なお、令和8年度第3回日立駅周辺地区まちづくり会議は6月開催予定である。

以上

令和8年度第2回日立駅周辺地区まちづくり会議の様子

